

令和 6 年

高松市教育委員会 8 月定例会

会 議 録 (抄本)

8月22日(木)開会

8月22日(木)閉会

出席した教育長及び委員			
教育長	小柳和代		
委員	葛西優子		
	小方朋子		
	富家佐也加		
	和泉憲		
欠席した教育長及び委員			
委員	吉澤 潔		
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	一原玄子	こども保育教育課 運営支援室長	香川昭子
教育局参事	前田康行	こども保育教育課 運営支援室長補佐	橘 静香
教育局次長 総務課長事務取扱	黒川桂吾	総務課長補佐	春日布三
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	佐々木啓明	総務係長	唐渡みどり
学校施設整備室長	川西正晃		
学校教育課長	岡内秀寿		
保健体育課長	河田哲也		
生涯学習センター副館長	平尾智亮		
高松第一高等学教頭	國富正憲		
高松第一高等学校教諭	小谷猛房		
高松第一高等学校教諭	長山智美		
こども保育教育課	坂東崇嗣		
会議録署名委員	富家佐也加		
事務局担当書記	岡谷有紗		

【特記事項】 傍聴人1名

議 事 日 程（8 月 定 例 会）

日程第 1 議案第 20 号 高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について

日程第 2 報告事項

- 1 高松市地域部活動検討委員会について
- 2 第 5 3 回高松市子ども会フットベースボール大会の開催について
- 3 令和 6 年度高松市保育教育士採用試験の実施について
- 4 令和 6 年度幼稚園・こども園訪問について

日程第 3 議案第 21 号 令和 7 年度使用高松第一高等学校教科用図書採択の決定について

日程第 4 報告事項

- 5 令和 6 年第 4 回高松市議会定例会提出議案に対する意見の申出について
- 6 令和 7 年度使用中学校教科用図書採択について

【令和6年8月22日（木） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に富家委員を指名。

日程第1 議案第20号

議案第20号 「高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について」

生涯学習センター副館長から、高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 報告事項

報告事項1 「高松市地域部活動検討委員会について」

保健体育課長から、高松市地域部活動検討委員会について説明。

<質疑>

- 委員 部活動指導員14名の報酬は、年210時間以内で運用されるということなので、時給制になるのでしょうか。
- 保健体育課長 時給制となっております。
- 委員 部活動指導員は今後も増員する予定なのですか。
- 保健体育課長 現時点では14名を配置しておりますが、さらに1名派遣して15名の配置を予定しています。
- 委員 部活動指導員が増えることで、今後報酬等の増額が考えられますが、報酬はどこから出るのですか。
- 保健体育課長 報酬については、国からの事業をもとに実施しているので、国と県と市で3分の1ずつを負担しています。
- 教育長 今は国のモデル事業の指定を受けているので、補助金の仕組みが使えているということですね。
- 委員 部活動の地域移行については、再検討をどんどん進めていってほしいのですが、市の調査で教職員が部活動指導に負担を感じていると回答した割合が6割を超えていたり、教員の働き方改革で悩んでいるという校長先生が多いということもありますので、やはり今後部活動をどうしていくかというのは中心的な課題として進めていただきたいと思います。また、子ども自体が少しずつ減っていくことは予測できることだと思いますので、今後の部活動入部者数等の予測も必要ではないかと思います。少し前までは、強制ではないですが、中学生はみんな部活動に入るのが当たり前という風潮だったと思いますが、最近ではその風潮も変わってきているのではとないかと感じています。そうすると、部活動に入らない子どもがもっと増えてくるので、部活

動の種類が減少したり、部員が集まらないなど、さらに厳しい状況になっていくと思います。それも見越した上で、働き方改革と合わせて今後の部活動について検討していただきたいです。

- 保健体育課長 実際、子どもの人数は減ってきており、子どもが減ることによって教員の定数も減ってきているのですが、それに対して部活動数が多すぎるとい現状もあります。そのあたりも考慮しながら検討していかなければならないと思っています。
- 委員 少し前までは、部活動はみんな入りましょうといった指導があったように思います。息子が中学校に入学したときも、先生からできる限りみんな部活に所属してくださいというお話がありました。今はそういった風潮は変わってきているのですか。
- 保健体育課長 部員数が減少し、一つの部だけでは団体チームが組めなくなっているという現状もありますので、学校としては基本的には部活動に入ってほしいというようなことを言っている学校もあるかもしれません。様々なクラブチームが校外にあるため、クラブチームに所属するために部活動には入らないという生徒が多数いることもあり、厳しい状況にはなっています。
- 委員 部活動を地域移行するようになれば、学校からみんな部活に入らなければならないという雰囲気も変えていく必要があると思いますので、教育委員会からもそういったお話をしていただいた方が良いのではないかと思います。
- 教育長 10年以上前は、なるべく全員部活動に入りましょうという空気感が何十年にも渡ってありましたが、今はなぜ部活に入っていないのかというような雰囲気はないですね。
- 保健体育課長 なるべく部活に入りましょうということは言いますが、絶対に入りなさいなどと強制するようなことは言っていません。

- 教 育 長 やはり学校としては部活動に入ることによって、体力づくりや、人間関係や時間の使い方が学べるので、より中学生生活を充実させるという視点で、部活動に入るよう言っているのでしょうか。

- 保健体育課長 はい。中学生が異学年と交流するのは部活動くらいであり、そのような機会が少なくなってきたので、部活動は貴重な体験になると思います。

- 教 育 長 地域に部活動が移行してきている中で、そういった異学年との交流についても変わってきているのですね。

- 委 員 子どもたちも部活動には入らなければならないという雰囲気があって入部しているのだと思いますが、やはりスポーツが得意ではない子とかは同じような部活動に集中してしまうので、ものすごく部員数が多くなり、基本的な練習ができないという状況の部活動もあるそうです。今は難しいですが、以前は部活動の種類を増やしてほしいという働きかけをしたことがありましたが、先生の配置が難しいとか、新しい部活動を作るのは難しい等の理由で実現しなかったという経緯があります。今は生徒の人数も減ってきているので、部活動の数は減ってきていますが、一極集中となっている部活動もあるので、そういった面の解決やクラブチームとの協力もとても大事なことだと思います。学校の部活動にはできる種目がないため、小さい頃から習っているクラブチームにそのまま行ってしまうという子もいると思うので、そういうクラブチームとも協力することがとても大事だと思います。地域にもたくさん体育教室等があると思うので、地域移行に合わせてそういったものにも参加していく検討をしてもいいのではないかと思います。

- 教 育 長 今までの部活動の在り方では、中学校1年生で野球部に入部するとずっと野球を続けられないといけないという雰囲気がありましたが、スポーツ庁長官が子どもどものときに様々な種目のスポーツに親しむことで、自分に向いているものが見つかったりするということをおっしゃられていたので、その一環として、TESCでストリートダンスや弓道やアーチェリーを始めることにしました。勝つことを目的にするのではな

く、楽しむことを目的にしたスポーツをいかに提供していくかということを目標に検証しているところですが、本当はこういった活動がそれぞれの地域にあれば良いのだと思います。また、部活動で何をしたいかと尋ねると、意外と子どもたちはスポーツだけではなく、料理や手芸を希望する子もいます。そういったことを地域コミュニティと連携して活動できるようになればいいと思います。

報告事項2 「第53回高松市子ども会フットベースボール大会の開催について」

生涯学習課長から、第53回高松市子ども会フットベースボール大会の開催について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項3 「令和6年度高松市保育教育士採用試験の実施について」

こども保育教育課運営支援室長から、令和6年度高松市保育教育士採用試験の実施について説明。

<質疑>

- 教 育 長 近年の受験倍率は、どういった傾向にあるのですか。

- こども保育教育課運営支援室長 近年は、おおむね4倍から5倍程度で推移しています。経験者枠は採用人数が少ないので、10倍程度となっています。
 - 教 育 長 経験者枠は難しいですね。経験者枠の採用人数3名というのは、毎年同じ程度の人数を採用しているのですか。
 - こども保育教育課運営支援室長 前年度、前々年度とも1名の募集で、今年度は3名に増員しました。理由としては、保育士の配置基準の改善があり、人数が不足しているところもありましたので、全体の採用人数が増えたことに伴い、経験者枠も増員となりました。
 - 教 育 長 小・中学校の教員は、病気になられたり、産休や育休に入られたりする方が急に出た場合、代替職員が見つからず苦勞しているのですが、幼稚園や保育所の保育教育士はどのような状況ですか。
 - こども保育教育課運営支援室長 学校と同じ傾向にあります。代替職員として会計年度任用職員の募集をしていますが、同様に苦勞しております。
-

報告事項4 「令和6年度幼稚園・こども園訪問について」

こども保育教育課運営支援室長から、令和6年度幼稚園・こども園訪問について説明。

<質疑>

- 委 員 昨年度は幼稚園、今年度はこども園を訪問させていただきましたが、各年齢の給食についての掲示がありました。野菜の切り方など、3歳児のお母さんが4歳に

なったらこれくらいの大きさのものが食べられるようになると見て分かるように掲示されていたのがとても良いと思いました。給食は幼稚園とこども園との差もあると思いますが、保護者が分かりやすい掲示を今後もお願いしたいと思います。

- 委員 幼稚園に訪問しましたが、園児数がかなり減っていると感じました。人数が少ないこともあり、異なる年齢の園児たちが時間を合わせて一緒に遊んだり工夫されていましたが、園児の中に先生が入って一緒にサッカーをされていたので、もう少し人数が増えたら様々な経験も体力づくりもできるのではないかと思います。また、支援が必要なため、他の幼稚園に断られて、地域外から通園しているお子さんもいました。今の公立幼稚園は、支援が必要な子どもに対して手厚く見ていただけるようになっていたので、安心して預けられると感じられました。
- 委員 園長先生が子どもの誕生会のことで保護者の方と個別に面談をして計画を練っていたりして、しっかりと保護者の方と向き合って繋がりを持ってくださっているのは、とてもありがたいことだと感じました。
- 委員 支援が必要な子どもが増えてきていますが、幼児教育や保育の現場には特別支援学級がなく、公立の施設は支援が必要ということを理由に入園をお断りできないので、本当に特別支援の資質能力を保育者としてあげていただくしかありません。特別支援の資質向上のために、研修等を頑張っていたきたいと思います。
- 教育長 生き物や栽培物に触れる直接体験をさせるため、アサガオや野菜を育てている施設が多い中、保育教育士の先生方はとても忙しいと思いますが、植物の栽培についてはどなたがされているのでしょうか。小・中学校は、地域との連携が強固になってきており、地域の方々が手伝ってくれるようになっていますが、幼稚園やこども園はいかがでしょうか。
- こども保育教育課運営支援室長補佐 幼稚園内においても職員数が少ないので、全員で計画を立てて植物の栽培等を行っています。若い先生は畑づくりが初めてだったりす

るので、経験のある職員が作り方などを一緒になって考えています。職員でも知識が十分ではないところについては、小・中学校と同じように地域の方に栽培の先生になっていただき、教えてもらうような機会を設けています。

- 教育長 子どもたちの体験が不足していて、野菜がどのように育つのかを知らない子どもも多い中で、非常に良い取組だと思いました。地域の力も借りながら、そのような取組を充実させていただきたいと思います。

教育長が議案第21号、報告事項5及び報告事項6について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、会議は公開しないことを各委員に諮り、非公開とすることに決する。

日程第3 議案第21号

議案第21号 「令和7年度使用高松第一高等学校教科用図書の採択の決定について」

<非公開審議、内容不記載>

日程第4 報告事項

報告事項5 「令和6年第4回高松市議会定例会提出議案に対する意見の申出について」

<非公開審議、内容不記載>

報告事項6 「令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」

<非公開審議、内容不記載>

午前10時38分 閉会

議決事項

「高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について」

「令和7年度使用高松第一高等学校教科用図書採択の決定について」